

掛川市教育委員会定例会会議録

教育委員会事務局

会議の名称	平成27年9月掛川市教育委員会定例会		
場 所	市役所南館 教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策室 富田正昭
開 催 日 時	平成27年9月24日(木) 午後2時00分から午後3時45分まで		
作 成 日 時	平成27年10月19日(月)	次回開催日	平成27年10月29日(木)
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり		
出 席 者	教育長 教育長職務代理者 委員 委員 委員 こども希望部長 山田文子 小野恵美子 永田孝明 松浦昌巳 岩尾千佳子 高川佳都夫 学務課長 学校教育課主 社会教育課長 図書館長 教育政策室長 教育政策室指導主事 教育政策室主任 中山弘一 山田英子 栗田一吉 村松賢司 堀田彰規 豊田正昭 富田正昭 杉村省吾		

会議次第

1 開 会

2 8月教育委員会定例会会議録の承認について

3 教育長の報告

(事務報告及び行事予定)

4 協議事項

- (1) 乳幼児センターすこやか幼稚園部外3園優先条件等について (資料 1)

5 報告事項

- (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料 2)
- (2) 平成26・27年度掛川市教育委員会指定ICT研究発表会等について (資料 3)
- (3) 平成27年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について (資料 4)
- (4) かけがわ図書館フェスティバル2015等について (資料 5)
- (5) 研究発表会(土方幼稚園)について (資料 6)
- (6) 議会6月及び9月定例会一般質問について (資料 7・8)
- (7) 第9回かけがわ教育の日について (資料 9)
- (8) 「世界一短いメッセージ」募集結果について (資料 10)

6 その他

- (1) 教育委員視察研修について (資料 11)
- (2) 次回定例会の日程等について (資料 12)

7 閉 会

協議事項

(1) 乳幼児センターすこやか幼稚園部外3園優先条件等について

こども希望部長から、乳幼児センターすこやか幼稚園部外3園優先条件等について説明があった。

今回、定員がオーバーする可能性のある、すこやか幼稚園部、さかがわ幼稚園、三笠幼稚園、佐束幼稚園の4園について、地域枠等の優先条件等について、お諮りするものである。現時点でのこの4園の希望状況であるが、すこやか幼稚園部については、定員40人に対し、45人が希望を出している。さかがわ幼稚園については、定員30人に対し23人、三笠幼稚園については、定員40人に対し39人、佐束幼稚園については、定員30人に対し佐束地区の幼児が12人希望している。佐束幼稚園については、上内田地区の3歳児19人が、対象となることから、全員希望した場合、定員をオーバーする可能性がある。それぞれの園で、定員をオーバーした場合は、抽選となる。

委員：定員をオーバーした場合は、抽選となるとのことだが、佐束幼稚園については、旧掛川地区に比較的近いことから、上内田地区などから希望者があるのか。

こども希望部長：旧掛川地区の保護者の中には、多人数学級の幼稚園の環境を望まず、小人数の園を望む保護者がいる。佐束幼稚園は、比較的、立地条件や規模がこういった要望に合っている点から、希望者が多い傾向にある。

教育長：第一希望、第二希望はあるのか。

こども希望部長：保育園の場合は、第三希望までであるが、幼稚園の場合は、市内全体の入園率が5割程度である。抽選に漏れた場合は、第二希望を聞いているが、ほとんどの人が、希望した園に入園できている。特に南部については、園の定員に対し、希望する人が少ない傾向にある。

その他意見はなく、承認された。

報告事項

(1) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課主席指導主事から、[掛川市内小中学校のあらわれについて](#)、以下のとおり説明があった。

まず、ここ最近のトピックであるが、8月15日、文化会館シオーネにおいて掛川市戦没者追悼式が行われ、約500人の遺族や市民が参列し、戦没者の霊を慰めるとともに、平和への誓いを新たにした。また、大浜中学校の生徒代表の3人が、「平和とは誰もが笑顔で普通に暮らせること」等のメッセージを披露すると会場から大きな拍手が贈られた。

8月23日には、市制10周年記念事業「金次郎と掛川の偉人検定」が大日本報徳社で開催された。この検定は、二宮金次郎や郷土の偉人の功績を学ぶことで、市民や子どもたちに夢を

持って志を育んでもらうことを目的として開催され、小学校１年生から75歳までの受験者34人が検定に臨んだ。

９月２日には、和田岡小学校全校児童165人が、学校東側の道路沿い約170mにコスモスの種をまいた。「コスモスロードにコスモスを咲かせよう」と名付けられたこの活動は、３年目を迎え、地域と児童が一緒に行っている。

次に、８月の交通事故についてであるが、小学校は０件、中学校は１件の交通事故の報告が学校からあがってきた。命には別状のない事故であった。

次に、８月の非行等問題行動についてであるが、小学校は２件、中学校は６件あった。小学生は、「窃盗」と「ネットトラブル」であり、中学生は、教師への暴言・威嚇等であった。

８月の不登校児童生徒であるが、夏休み期間であり、小学校、中学校ともに０人だった。

次に８月のいじめ問題であるが、同様に小学校、中学校ともに０人だった。

(2) 平成26・27年度掛川市教育委員会指定ＩＣＴ研究発表会等について

学校教育課主席指導主事から、平成26・27年度掛川市教育委員会指定ＩＣＴ研究発表会等について、以下のとおり説明があった。

研究テーマについては、「説明する力を身につけた子」の育成であり、今回、平成26、27年度の掛川市から研究指定を受けた大須賀中学校及び倉真小学校で開催される。開催日は、大須賀中学校が10月27日火曜日の午後、倉真小学校が11月17日火曜日の午後であり、公開授業が実施される。教育委員の皆様の出席をお願いする。

教育長：桜が丘中学校の研究発表会は開催されるのか。

学校教育課主席指導主事：桜が丘中学校区については、11月に研究発表会が開催されるので、今後案内をさせていただく。

松浦委員：掛川市内の他の小中学校では、タブレット端末の導入は進んでいるのか。

教育長：掛川市全体では、計画的にタブレット端末の導入を進めている。因みに、大須賀中学校区の小中学校では、タブレット端末の導入が完了している。

委員：市内では、研究指定を受けた大須賀中学校及び倉真小学校については、タブレット端末の導入が完了していると聞いている。近隣の市町では、袋井市のＩＣＴ化が進んでいて、市内の全部の小中学校にタブレット端末が設置されているときいている。

(3) 平成27年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について

社会教育課長から、平成27年度全市一斉青少年育成環境美化活動報告について、以下のとおり説明があった。

全市一斉青少年育成環境美化活動については、昭和61年度から取り組み、本年度は、30回目を数え、節目の年でもある。例年８月の第１週の日曜日に実施している。参加人数の傾向であるが、ここ数年で一番参加者が多かったが、中学生については、昨年度と比較して100

人程度減少している。少子化の影響と思われる。感想としては、地域で小中学生との交流の機会が少なく、コミュニケーションには良い機会となった等の好意的な感想が寄せられた。課題としては、この活動を見直す時期にきているといった意見もあり、今後、青少年健全育成のあり方も含め、他にどんな活動ができるのか検討していく必要があると考えている。

委員：毎年、家族全員で参加するようにしている。地域の小中学生とふれあう機会であり、参加率も高く、とても良い活動であると思う。

委員：参加してみると、有意義な活動であるといった感想が聞かれるので、ある程度強制力があってもいいと思う。

この活動を見直す時期にきているという意見があったとのことであるが、今後廃止した方がいいという考え方が。

社会教育課長：この意見については、ある区の役員からの意見であるが、地域の行事がかなり多いので、行事を厳選したいという思いであると推察される。この活動自体は、ある程度定着しているので、継続していく必要があると思うが、この活動だけを実施するだけでいいという問題でもないと思う。今後、御意見をいただき検討していく必要がある。

(4) かけがわ図書館フェスティバル2015等について

図書館長から、かけがわ図書館フェスティバル2015等について、以下のとおり説明があった。

かけがわ図書館フェスティバルは、読書推進運動の一環として、読書するきっかけ、より読書に親しむ働きかけを行うことを目的に秋の読書週間に合わせて、毎年開催している。

図書館フェスティバルでは、日頃図書館で活動しているグループや図書館職員による「読み聞かせ」や「コンサート」、「公開講座」、「手作り講座」など、子どもから大人まで楽しんでもいただけるイベントが、10月31日の「こどもとしょかんまつり」を皮切りに、11月8日までの間、中央図書館、大東図書館、大須賀図書館の3館で多彩に繰り上げられる。

今年は市制施行10周年でもあるので、例年以上に内容を充実したものとなっている。詳しくは、資料のスケジュールと案内チラシをご覧ください。

(5) 研究発表会（土方幼稚園）について

こども希望部長から、研究発表会（土方幼稚園）について、以下のとおり説明があった。

研究発表会については、土方幼稚園で11月12日木曜日に開催される。土方幼稚園では、発達段階に応じた運動遊びを実践する「アクティブチャイルドプログラム」の研究発表である。

教育委員の皆様には、午後2時30分から開始される研究発表会には必ず参加をいただきたいが、都合がつけば、午前中の公開保育の参観もお願いしたい。当日の公開保育の参観及び研究発表の参加については、土方幼稚園にFAX、電話等で申込みをお願いする。

(6) 議会6月及び9月定例会一般質問について

教育政策室長から、議会6月及び9月定例会一般質問について、以下のとおり説明があった。

議会 6 月及び 9 月定例会一般質問について一括して報告する。

市議会 9 月定例会で通告のあった「一般質問」について、概要を報告する。9 月定例会では、全員で 10 人の議員が一般質問し、教育委員会事業に関して質問した議員は 5 人あり、内訳は、1 日目 1 番目の雪山敏行議員、2 番目の野口安男議員、2 日目、1 番目の堀内武治議員、2 番目の窪野愛子議員、4 番目の二村禮一議員の合計 5 人から質問があった。

質問の内容については、資料 8 として配布させていただいた。

各議員の主な質問と市長、教育長の答弁を報告する。

資料 8 の雪山敏行議員の一般質問であるが、「総合教育会議への期待」というテーマで、4 点について質問があった。

主なものであるが、「総合教育会議において、小学校の適正配置を一貫校設立検討と一体的に検討すべきものとする。また、現存する小学校施設を存続する方式で早期に設立すべきと考えるが市長の所見を伺う。」という質問に対し、市長から「現在、教育委員会を中心に研究を進めており、その内容を踏まえて、学校の適正配置等とあわせて、総合教育会議の中でも十分に議論を重ねていく。」旨の答弁があった。

次に野口安男議員の「学力・学習状況調査の好結果における学校教育の方針について」に関する質問については、「平成 24 年度当時の 6 年生が中学 3 年生になった今年度に 3 教科とも上回ったのは、どのような授業改善があったのか伺う」という質問に対し、教育長から「平成 25 年度から『かけがわ学力向上ものがたり』を作成し、思考力や問題解決力などの『かけがわ型スキル』を意識した授業に取り組んでいる。具体的には、子どもの考える時間とまとめる時間を十分に確保した授業づくりに努め、学びの質を高めている。さらに、授業の内容を見やすく視覚化に取り組むことで、どの子にも楽しく、分かりやすい授業になり、学力が向上してきたと分析する。」旨の答弁があった。

次に、堀内武治議員の「平和教育の充実について」と「貧困問題と児童虐待について」に関する質問があった。「平和教育の充実について」は、「平和首長会議に参加し、平和に対し積極的意志を持つ市長として、平和教育の充実についてどう考えるか所見を伺う」という質問に対し、市長から「今後も、次世代を担う子どもたちをはじめ、市民全体が平和について考える機会を設けていく。」旨の答弁があった。

次に、「貧困問題と児童虐待について」であるが、「子どもの貧困の現状とこの問題に対する市長の見解を伺う」という質問に対し、市長から「今年度策定する第三次地域福祉計画の中でも取り組むべき対策として盛り込む。そして、ひとり親家庭の自立を支援するため、子どもの居場所づくり、子どもの学習支援や親の資格取得支援、就労支援など、より具体的な施策を検討していく。」旨の答弁があった。

次に、窪野愛子議員の「次代を担う子どもたちの健やかな成長を育む取り組みについて」であるが「昨今低年齢化する犯罪について、教育長の見解を伺う」という質問に対し、教育長から「教育委員会としては、学校の教育活動全体で子どもの規範意識を高めるとともに、家庭における『かけがわお茶の間宣言』、地域における『青少年声掛け運動』や『合同補導』、学園化構想における『栄川学園子育て十箇条』などの取組等により、家庭や地域が十分に教育力を発揮できるよう、市民総ぐるみの活動を推進している。子どもたちの健全育成につながっていると認識している。」旨の答弁があった。

次に、二村禮一議員の「小中一貫教育について」であるが、小中一貫教育の推進の目的と効果について伺う」との質問に対し、教育長から「小・中学校が目指す子ども像を共有し、義務教育 9 年間を見通した教育課程を編制し、発達段階に応じて、滑らかで適切な接続が可能となり、子どもに寄り添った教育活動を展開することができる。また、小中学校の教員が

相互に乗り入れて専門教科の授業を行うことにより、小学校でも段階に応じて教科担任制の授業を導入することができ、学力向上に効果が期待される。また、様々な年代の人と関わ合うことで、多様な考えに触れる機会の増加や、互いに切磋琢磨し高め合う中で、世界で活躍できる人間の育成も期待される。」旨の答弁があった。

こども希望部長：南部地域の幼保一元化についての質問に対する補足説明をさせていただく。主な質問内容は、大東区域の現状と課題、幼保一元化を進めていく目的、再編整備計画の進め方、保育士不足の解消の対策についてである。

委員：堀内議員の質問の中に平和教育に関するものがあり、市長は、教育大綱の中に平和教育を盛り込んでいきたいと答弁された。今後、教育委員会としても検討していく必要があると考えるがいかがか。

教育長：教育大綱の策定については、所管が企画調整課となり、今後の方向性が示されていくと思う。

委員：教育大綱の中に平和教育を盛り込む提案については、教育委員会主導なのか、企画調整課が主導していくのか。例えば、修学旅行の行程に広島を入れるか否かなどの議論も必要であると思う。

教育長：所管が企画調整課であり、企画調整課が主導して提案していくと思う。

教育政策室長：企画調整課が平和教育を盛り込む案を作成し、総合教育会議の中で議論されることが想定される。

(7) 第9回かけがわ教育の日について

教育政策室豊田指導主事から、第9回かけがわ教育の日について、以下のとおり説明があった。

「第9回かけがわ教育の日」の内容が、9月9日に開催した「かけがわ教育の日」実行委員会、協力団体協議会で決定したので報告する。今回は、「広げよう親子読書 つくろう我が家のお茶の間ライブラリー」をテーマとし、11月21日土曜日に大須賀中央公民館において開催する。第1部は、オープニングアトラクションとして横須賀幼稚園児による「茶金ちゃん音頭」などや「世界一短いメッセージ」の表彰、実践発表として社会教育委員会による「お茶の間宣言を実現する子育てのあり方」、第2部は、作家の柳田邦男先生による基調講演である。

会場周辺は、駐車場が少ないため、一般の方々については、横須賀小学校に駐車していただくこととなる。講演終了後に柳田先生の本の販売やサイン会が予定されている。

(8) 「世界一短いメッセージ」募集結果について

教育政策室豊田指導主事から、「世界一短いメッセージ」募集結果について説明があった。

今年度の「世界一短いメッセージ」の応募者数は過去最多の8,475作品で、昨年度の7,113

作品より1,362作品増加した。現在、第一次選考が終了し、選考された135作品を第二次選考で36作品を選考している。10月16日の第3回「かけがわ教育の日」実行委員会にて、最終選考を行い、優秀作品12作品を選考する予定である。優秀作品の12名は、「かけがわ教育の日」に表彰し、岩尾教育委員が作成したイラストを贈呈する予定である。岩尾教育委員の御協力に対し、感謝申し上げる。

その他

(1) 教育委員視察研修について

教育政策室教育企画係長から、教育委員視察研修について提案があった。

視察の時期について、来年の1月か2月に決定。次回に具体的な視察目的や視察先等の提案する予定。

(2) 次回定例会等の日程等について

① 10月教育委員会定例会日程

日 時： 10月29日（木） 午後1時30分～
開催場所： 市役所南館教育委員会室

② 11月教育委員会定例会日程

日 時： 11月24日（火） 午前10時00分～
開催場所： 松ヶ岡

③ 12月教育委員会定例会日程

日 時： 12月25日（金） 午後1時30分～
開催場所： 市役所南館教育委員会室

(3) その他の予定について

① かけがわ教育ディスカッション

日 時： 10月19日（月） 午後2時30分～
開催場所： 教育委員会会議室他

② 「キラリ！ふれあいコンサート」

- ・ 10月28日（水） 南会場（文化会館シオーネ）
午前部 開会 午前 9時30分～ 小野教育長職務代理
午後部 開会 午後 1時00分～ 永田教育委員
- ・ 11月 5日（木） 北会場（生涯学習センター）
午前部 開会 午前 9時30分～ 岩尾教育委員
午後部 開会 午後 1時00分～ 松浦教育委員

③ 国立新美術館「日本美術展覧会」等見学会

11月7日（土）午前6時00分～午後6時30分（予定）
東京都（国立新美術館・科学技術館）

④ かけがわ教育の日

日 時： 11月21日（土）午前9時00分～

開催場所： 大須賀中央公民館